

平成25年度 契約監視委員会（第2回）議事要旨

1. 日 時 平成26年3月4日（火） 10:00～11:01
2. 場 所 大学評価・学位授与機構 小平本館206会議室
3. 出席者
(委員) 和田委員長、島田委員、館委員
(事務局) 福治管理部長、長塚会計課長、山田会計課課長補佐、小城契約係長
高曽根総務企画課課長補佐、河内山総務企画課課長補佐、
川村監査室長、坂田監査係長、岩見監査係主任
(列席者)
西原人事係員、片桐契約係員、小山契約係員

4. 議 事

議事に先立ち、平成25年度第1回の議事要旨（案）が確認され、了承された。

- (1) 一者応札・応募事案フォローアップ票（平成25年度分）による機構としての講ずる措置の報告
前回報告した「一者応札・応募事案フォローアップ票（平成25年度分）」について、【資料2】に基づき、機構が講ずる措置の報告をした。

※質疑の概要については、〔別紙〕参照。

- (2) 平成25年度1月分までの契約について
平成25年度1月分までの契約一覧表【資料3】より、
①「競争性のない随意契約」の点検【資料4-1、2】

以上について、資料に基づき、点検を実施した。

※質疑の概要については、〔別紙〕参照。

- (3) その他

次回の契約監視委員会は、今回点検した以降の契約について、競争性のない随意契約と一者応札の契約を中心に、平成26年12月頃を実施することが確認された。

質疑概要

<p>【（１）一者応札・応募事案フォローアップ票（平成２５年度分）による機構として講ずる措置の報告】</p> <p>○基幹システム運用保守サポート業務（資料２－１）</p> <p>○基幹システムハードウェア保守業務（資料２－２）</p>	
確認事項・意見	回答
<p>【確認事項】この２件については、前回の契約監視委員会で、「入札の結果、一者応札はやむを得ないが、引き続き、実績を踏まえるなどして予定価格をしっかりと算定し、適正価格での契約となるよう努めてほしい。」とコメントを出したが、それに対して、機構として講ずる措置を報告願いたい。</p>	<p>・一者応札の改善策として、十分な業務等準備期間を確保するなど、現段階で対応可能な方策を全て実施した。</p>
<p>【（２）平成２５年度１月分までの契約について】</p> <p>①競争性のない随意契約</p> <p>○人事給与統合システムバージョンアップ 一式（資料５－１）</p>	
確認事項・意見	回答
<p>代理店証明書が提出されているが、製造元の株式会社サイエンティアから直接購入することはできないのか。</p>	<p>株式会社サイエンティアが開発元、製造元であるが、販売代理店として、エヌ・ティ・ティ・コムウェア東日本株式会社のみが行っており、株式会社サイエンティアから直接購入することはできない。</p>
<p>定価から２０％の値引率で契約しているが、この値引率は、全国一律の値引率なのか。</p>	<p>２０％引きの実績は、予定価格調書の作成の際、他の国立大学法人へ照会したところ、２０％の値引率が多かった。</p>
<p>バージョンアップの必要性が生じたのはなぜか。</p>	<p>適正な人事管理及び給与支給業務を維持するため、WindowsXP のサポート終了に伴い、Windows 7以降のOS に対応し、メーカー保守の対象となっている V5 へのバージョンアップが必要となったため。</p>
<p>随意契約になっているが、やむを得ない、また予定価格も適正なものである。</p>	/

②一者応札の契約の点検 ○統合脅威管理機器 (UTM) 一式 (資料 4 - 2)	
確認事項・意見	回答
質が落ちないで、できるだけ競争が働くような方法を考えて、入札が適正に働くよう努力していただきたい	

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成25年度分)

法人名	独立行政法人大学評価・学位授与機構	
案件番号	1	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	基幹システム運用保守サポート業務	
契約締結日	平成25年 3月19日	
契約の相手方の商号又は名称等	ネットワンシステムズ株式会社	
入札経緯及び結果	平成25年 2月27日 入札公告	
	平成25年 3月13日 入札書等提出書類×切 平成25年 3月19日 開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	本業務を行うための必要な条件と競争性を持つ内容となっているため、変更しなかった。
②業務等準備期間の十分な確保	○	業務の準備期間を9日間から13日間に期間を延長し準備期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を休日を含めて10日間から15日間に延長した。
④公告周知方法の改善	○	参入が予想される業者に幅広くPRを行うため、文部科学省ウェブサイト上の調達情報のページ、当機構ウェブサイト及び外部掲示板に掲載した。
⑤電子入札システムの導入	×	導入予定はない。
⑥業者等からの聴き取り	○	入札への参加・不参加(不参加の場合はその理由)や改善等についてのアンケート用紙の配布をした。 配布者数: 1者、回収者数: 1者
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
一者応札の改善策として、十分な業務等準備期間の確保をするなど、現段階で対応可能な方策を全て実施した。		
契約監視委員会のコメント		
入札の結果、一者応札はやむを得ないが、引き続き、実績を踏まえるなどして予定価格をしっかりと算定し、適正価格での契約となるように努めること。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
契約監視委員会の意見を踏まえ、実績を踏まえるなどして、予定価格をしっかりと算定し、適正価格での契約となるよう努める。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
(委員長)和田 義博、島田 京子、館 昭		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成25年度分)

法人名	独立行政法人大学評価・学位授与機構	
案件番号	2	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	基幹システムハードウェア保守業務	
契約締結日	平成25年 7月11日	
契約の相手方の商号又は名称等	ネットワンシステムズ株式会社	
入札経緯及び結果	平成25年 5月 2日 入札公告 平成25年 6月24日 入札書等提出書類×切 平成25年 7月11日 開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様策定委員会により策定された仕様書の内容について、本業務を行うための必要な要件と競争性が確保されていることを確認した結果、変更しなかった。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を15日間から21日間に期間を延長して準備期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を50日間から54日間に期間を延長した。
④公告周知方法の改善	○	参入が予想される業者に幅広くPRを行うため、官報他、文部科学省ウェブサイトの調達情報のページに掲載し、また当機構ウェブサイトの調達情報ページにもリンクしている。
⑤電子入札システムの導入	×	導入予定はない。
⑥業者等からの聴き取り	○	入札への参加・不参加(不参加の場合はその理由)や改善対策についてのアンケート用紙の配布をした。 配布者数:4者、回収者数:3者
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
一者応札の改善策として、十分な業務等準備期間の確保をするなど、現段階で対応可能な方策を全て実施した。		
契約監視委員会のコメント		
入札の結果、一者応札はやむを得ないが、引き続き、実績を踏まえるなどして予定価格をしっかりと算定し、適正価格での契約となるように努めること。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
契約監視委員会の意見を踏まえ、実績を踏まえるなどして、予定価格をしっかりと算定し、適正価格での契約となるよう努める。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
(委員長)和田 義博、島田 京子、館 昭		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。